

スキットコンテストで熱演!

7/22 「第6回福島県英語スキットコンテスト決勝大会」



第六回福島県英語スキットコンテスト
決勝大会
福島県教育委員会

▲スキットコンテストに出場した飯館中学校チーム(写真左から、八巻実里さん、中島美紀さん、阿久津優衣さん)

「第6回福島県英語スキットコンテスト決勝大会」が福島県立図書館で開かれ、飯館中学校3年の阿久津優衣さん(草野)、八巻実里さん(草野)、中島美紀さん(比叡)が中学校部門に相双地区代表として出場しました。

「スキット」とは英語による寸劇のことで、英語のコミュニケーション能力の育成のために、毎年コンクールが開かれています。

中学校部門14チームのうち、飯館中学校チームは、自分たちで考えた学校生活を題材にした、英語のオリジナル脚本「A Sinking Boat」をいきいきと演じていました。



▲親子で楽しんだゆかいなコンサート

飯館村教育委員会は、親子で同じ時間や話題を共有して家族と触れあうコンサートを楽しんでもらおうと、幼稚園児と家族を対象に、公民館で劇

ゆかいなコンサート

7/12

団グリーンフィールドによる「ゆかいなコンサート」を開きました。コンサートは、歌のおねえさんやピエロのハッチが会場の親子と掛け合いをしながら「となりのトトロ」の挿入歌「さんぽ」や童謡の「アイアイ」などを歌いました。マジカル・博士のマジックショーでは、ハトが飛び出したり、空袋から何度も箱がでてきたりする度に、大きな歓声をあげ、思い出に残る時間を過ごしていました。

また、子どもたちがステージに上がり、童謡の「パンダ・ウサギ・コアラ」を踊ったり、保護者がハンドベルを披露する場面もあり、会場に訪れた約350人が一体となって「ゆかいなコンサート」を楽しんでいました。



▲マジックショーでは本物のハトが飛び出しました

親子で一緒に思い出を♪



▲ステージで一緒に踊った「パンダ・ウサギ・コアラ」



▲自分でつくったお弁当の味は「おいしー!」



▲サッカーボールや顔型など自慢のおにぎりがいっぱい!



▲かわいいキャラクターのおにぎりも



▲おいしいお弁当に笑顔

タップリほめる。シツカリしかる。

いいってっま 夢づくり構想

教育のページ

7/10 「お弁当の日」

小中学校で「弁当の日」
平成21年度の「早ね早おき朝ごはん運動」の事業の一つとして、今年も小学校、中学校で「弁当の日」が実施されました。

今年度1回目「弁当の日」は、小学校1年生から参加できるように「おにぎりおべんと」をテーマにしました。

このうち、草野小学校の子どもたちは、「朝4時に起きて作りました」「お兄ちゃんが炒めたチャーハンをおにぎりにしたよ」「サッカーボールの形のおにぎりをつくった」などと話し、自慢の「おにぎりおべんと」を友達に見せ合いながら、食べていました。

ほくの握った自慢のおにぎり!

子育て相談室 - お気軽にご相談ください -

シツカリしかる。その2

叱るには、目的をきちんとわきままえ、特に叱り方に気をつけることが重要です。そして、忘れてはならないのは、何を叱るかという、叱ることの内容です。

飯館村の親さんたちは子どもたちのどんなことを叱っているのでしょうか。

私は、子育てにおいて、叱る内容には三つあると信じています、

一つ目は、子どもが親の与えた命と健康を故意に損ねることをしたときです。虫歯を治さない、うがいや手洗いをしない、尿検査を出さない、赤信号を渡った、暴飲暴食、夜更かし、無軌道な生活などがこれに当たります。

二つ目は、弱いものいじめです。特に集団で少数をいじめるのは許して許されることではありません。きびしく叱るべきだと思います。

三つ目は、家の決まりを守らない、校則違反や法律違反です。服装違反や授業妨害などは校則違反で、法律違反がどんなことかは誰もが承知です。

子どもですから、何回かの教育的指導や注意が必要ですが、それが繰り返されてもお改めないとき、叱るという行為にいたるのが大切のように思います。

飯館中学校スクールカウンセラー
海野 和夫

○「教育相談」は、飯館中学校(☎42-0008)へ電話でお申込みください。